

2021/11/29-3

(うときゅういっきの「これから」緊急特別寄稿)

本日午後3時30分。

再び全面的入国制限の宣言が発せられました。

オミクロン型コロナが発見されて入国制限までに要した時間はほんの数日。

我が国の首相は、早すぎるロックダウンではないのかとの指摘に対して

「全責任は自分が負う」

とまで言い切った。

それが何を意味するかと言えば、今回のタイプはそれほど強力だということです。ワクチンに対して殆どオールマイティのパワーを持っている様な。

是で又海外からの供給網が寸断され食材の入手が困難になる。

当店の外国人従業員が母国に置いてきた家族の入国の可能性が限りなく遠のく。

このような事態に対して

「何故、あのときコロナ禍同時進行執筆 ニューノーマル探索サバイバル日記を早々に止めてしまったのか？それこそ時期尚早で、気が抜けて油断し、コロナ禍を甘く見すぎていたのではないか？」

とのご指摘が御座いました。

しかしそれはもう結論の出た話だと自分は思っております。

「常に危険や危機があるのが常態（ノーマル）

なので、一々ニューなどと付ける必要はなかったのだし、今回のオミクロンウイルスにしてもたまたま又「コロナ」であるだけで、他の危機の可能性もあったろうし、オミクロンが出る中で既に別の危機が始まっている可能性もあるのだから、何も再び「ニューノーマル探索サバイバル日記第三弾再開編」などと銘打って始める必要は全くなかろう」

と言うのが自分の考えで御座います。

そもそも平和や安らぎが100年も200年も続くわけがありません。だからこそつかの間の平和や安らぎが尊いのでしょう。

現に100年以上続いたパックスロマーナは本当の平和や安らぎはほんのつかの間の時間で、その後は見かけ上平和に見えていただけで、その安逸をむさぼっている間に隠れた危機がドンドン増殖し、結果ある日突然ローマ帝国は滅びてしまったわけです。

だとすれば平和や安らぎは本の一時の天からのプレゼントくらいに位置づけて「20年も30年も続くのは何か変だぞ？」と思いなした方が良い気がします。

話は変わりますが当店はお上から一銭も援助を戴きませんでした。いただく基準に達していなかったのも事実ですが、敢えて援助していただく気も御座いませんでした。

何故なら、危機が常にあるものだとすれば、最初の一回だけ援助していただいても何の役にも立たないからです。二回目も三回目も、そして100回目も継続的に援助がされるわけがありません。

であるのならば、最初の一回目を断って、その分危機への耐性を養った方が。先々芽が出る可能性が高かろうという判断で御座いました。

いってみればそれが今回の危機下での「果実 (fruitful harvest)」だと思っております。

完全な手前味噌では御座いますが。